

課題名

30. マルチ栽培の被覆時期

成果の概要

被覆時期（6月1日、7月17日、8月9日、8月29日）の異なったマルチ栽培における、土壌水分、果実品質、葉中成分、水分ストレスなどを調べた。

- (1) 7月被覆のマルチ栽培が糖度向上効果が劣っていた。これは、被覆時の土壌水分が多かったためと考えられた（図1）。
- (2) マルチ栽培の土壌水分は、変動が極めて小さかった。しかし、7月被覆の土壌水分が他のマルチ栽培と同水準になるには約1ヶ月間かかっていた（図2）。
- (3) 樹体の水分ストレスは、6、8月マルチ栽培では被覆直後から高くなっていたが、7月マルチ栽培と同水準になるのに約1ヶ月間かかっていた（図2）。
- (4) 中生温州の6月マルチでは、葉中空素含量が低くなっていた。

成績の概要

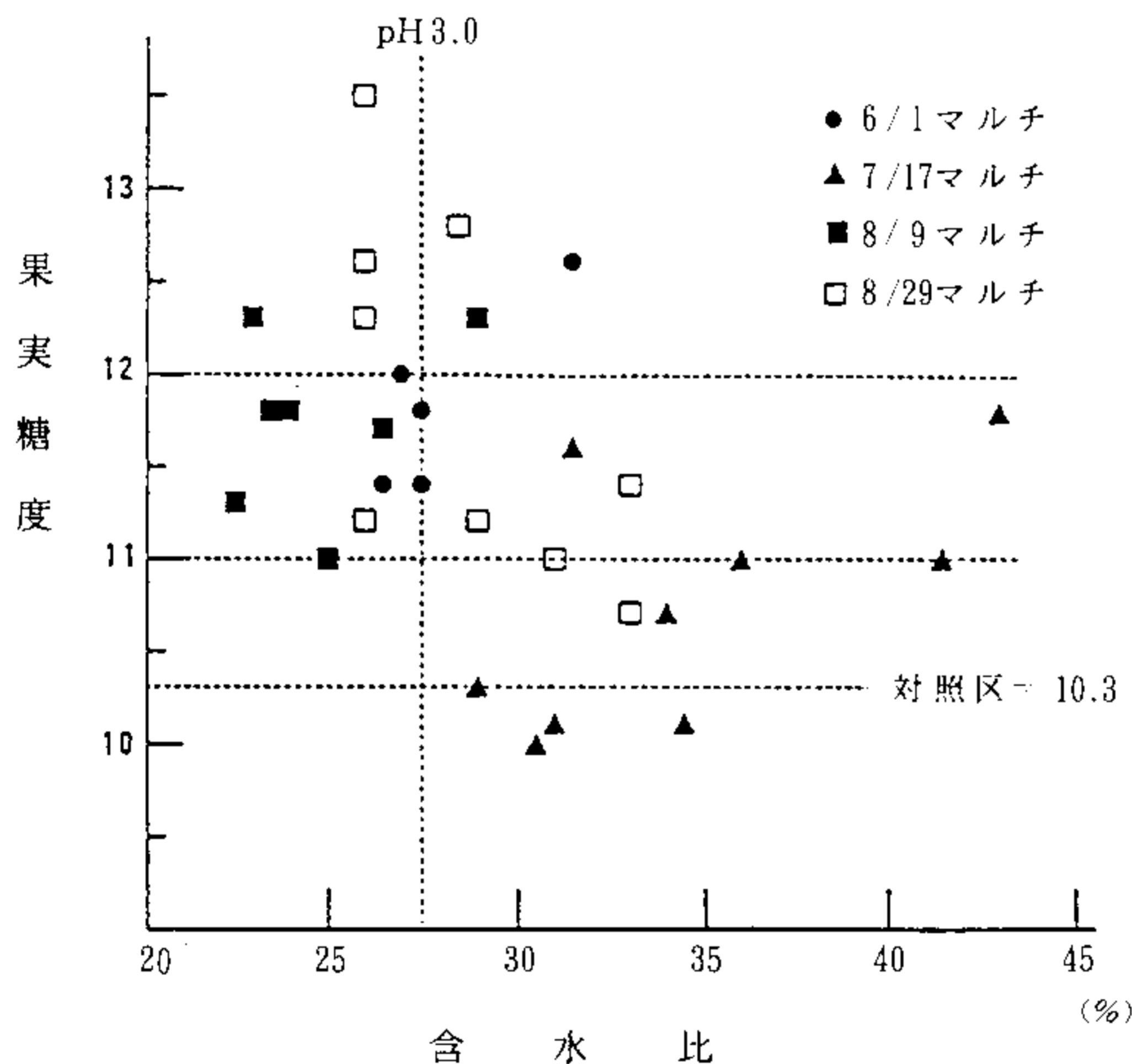


図1 被覆時の土壌含水比と糖度の関係

成

績

概

要

普及上の留意点

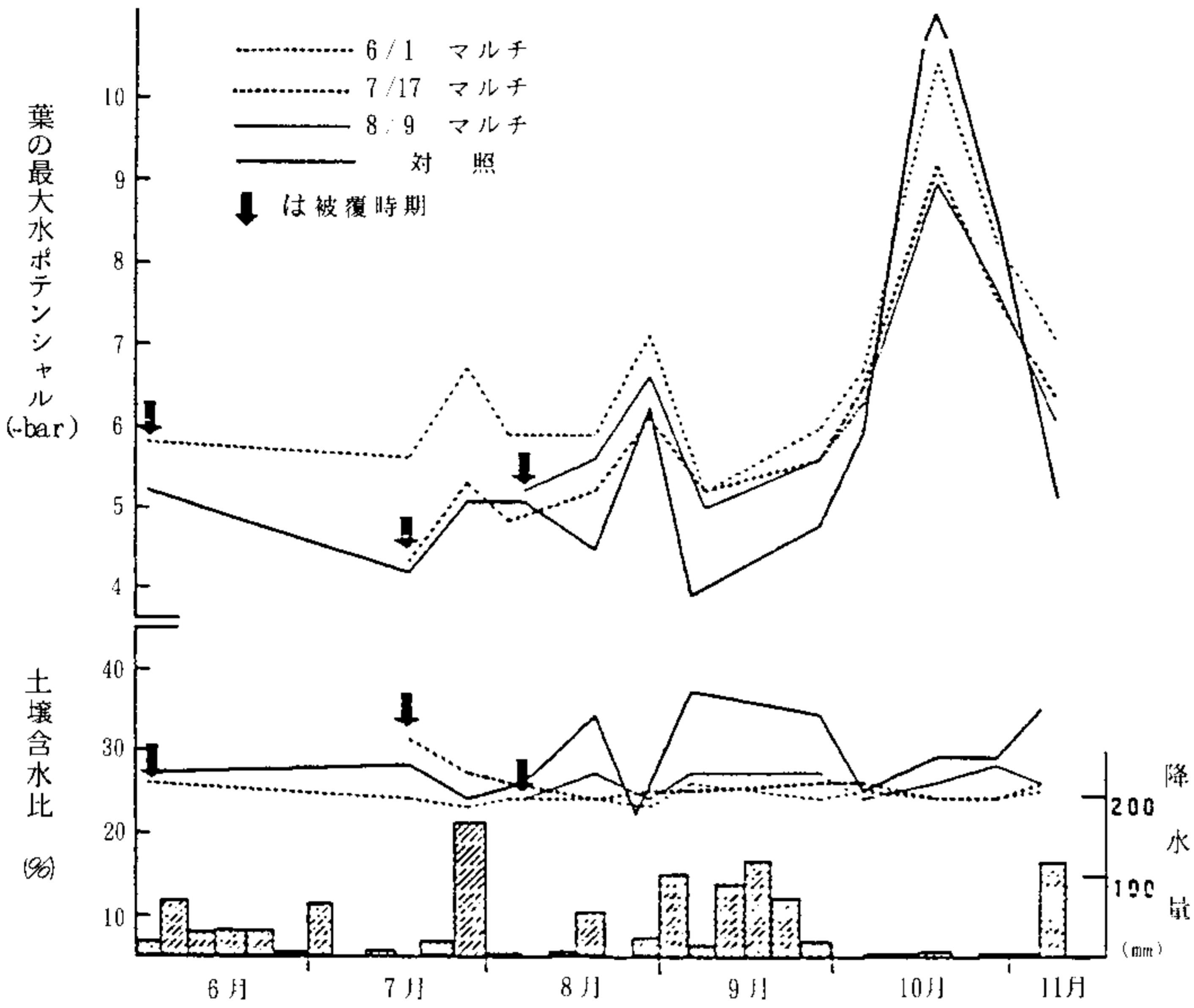


図2 葉の最大水ポテンシャル及び含水比の推移 (興津早生)

(果樹試験場)